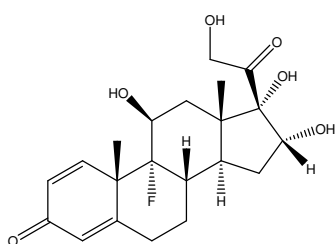
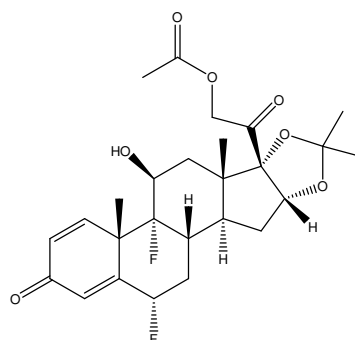


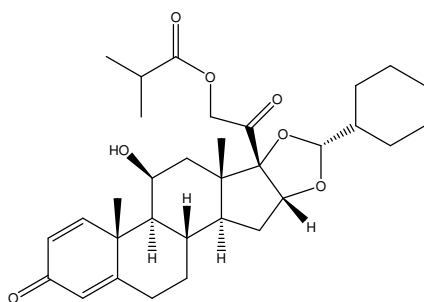
糖質コルチコイドとは副腎皮質で産生される副腎皮質ホルモン的一种です。抗炎症作用免疫抑制作用があるので、ステロイド抗炎症剤や免疫抑制剤として使われます。その臨床適応は湿疹、虫刺されのようなありふれたものから膠原病、悪性腫瘍など難治性疾患まできわめて多岐にわたります。したがって薬剤の種類やその性質も、共通部位のステロイド核に結合する置換基やその置換基の保護基の違いによって多種多様です。ここでは、数多くの薬剤の中から比較的親水性の高いトリアムシノロン、非常に疎水性の高いシクレソニド、及びその中間に位置するフルオシノニドの3つを選んで、CAPCELL PAK C₈ DD S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm) を用いて分析した例を示します。ステロイド核が共通であるにもかかわらず結合する置換基の違いで保持に大きな差が出ました。



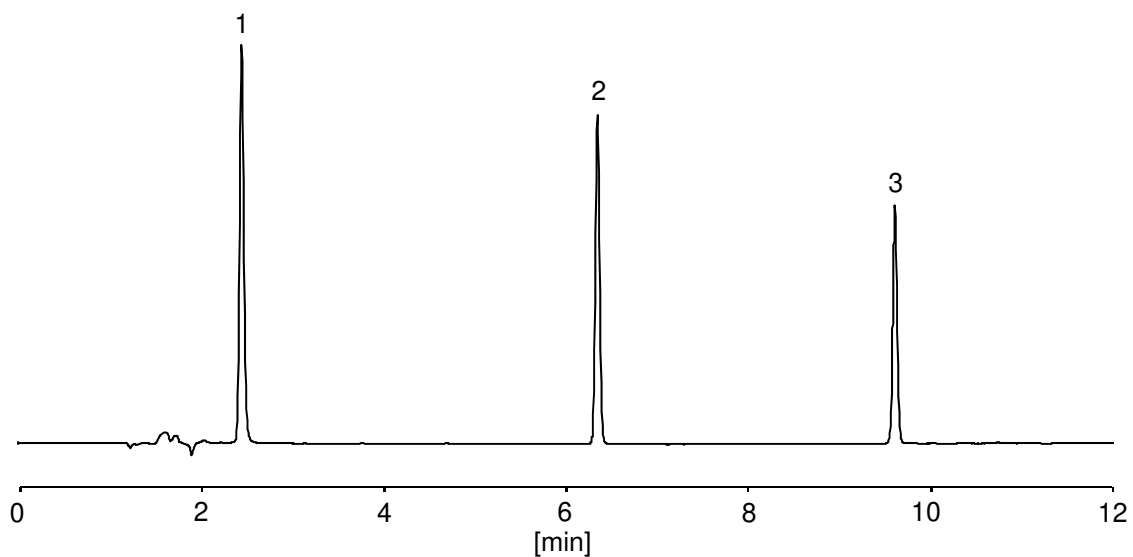
1. トリアムシノロン (100 µg/mL)
Triamcinolone (M.W. 394.4)



2. フルオシノニド (100 µg/mL)
Fluociclonide (M.W. 494.5)



3. シクレソニド (100 µg/mL)
Ciclesonide (M.W. 540.7)



【HPLC Conditions】

Column : CAPCELL PAK C₈ DD S5 ; 4.6 mm i.d. x 150 mm
Mobile phase : A) H₂O B) CH₃CN
 B 35 % (0 min) -> 100 % (10 min) -> 35 % (10.1 min) Gradient
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40 °C
Detection : UV 240 nm
Inj. vol. : 5 μL
Sample dissolved in : CH₃OH
 ※ 1 μg/mL = 1 ppm